

今後の国土政策の方向と主要な課題に係る論点（案）

平成 17 年 3 月
国土交通省国土計画局

1. 国土計画の今日的意義と役割

- ・ 国土計画策定の意義（長期性、空間性、分野横断性、合意形成）
- ・ 国の果たすべき役割
- ・ NPOなど多様な主体との連携
- ・ 地域の創意・工夫（都市・地域再生、特区）との連携
- ・ 海洋を含む国土・国土資源の再認識
- ・ 関係諸国の国土計画との連携

2. 目指すべき国土の姿「国のかたち」

- ・ 国土審議会調査改革部会報告「国土の総合的点検」（平成16年5月）で示された「多様な地域特性に応じた①効率的な経済社会活動、②豊かで安全な生活、③美しく快適な環境、を実現する世界に誇れる優れた国土」の形成を目指す。

3. 新たな策定アプローチ

- ・ 人口減少（参考資料1）や経済・社会のグローバル化が進む中、我が国の姿を正確に予測することが極めて難しい時代となっている。様々な不確定要因（人口動向や経済成長率等の内生的要因やエネルギー、環境制約等の外生的要因）について、いくつかのシナリオを提示する課題提起型の計画づくりができないか。

4. 今後の国土政策の主要課題

効率的な経済社会活動（参考資料2）

- ・ 「効率的な経済社会活動」の実現に向けて、以下のような課題が想定されるのではないか。
 - 東アジアとの日帰り可能圏域の形成、国際物流拠点の機能強化など、東アジア経済圏の発展等を含めたグローバル化に対応する国土基盤整備
 - 世界に開かれたグローバル都市圏づくりなど、経済活力・国際競争力を有する国土の形成
 - ビジター産業の振興（おもてなしのまちづくりなど）や観光的魅力向上のための広域的な取り組みの推進など、国際観光戦略の強化
 - 空間的余裕を活用した都市圏の整備、徒歩生活街区の形成など身近な市街地の再生
 - 海洋・海底資源の利活用をはじめ新たな海洋利用の可能性拡大を探る動きの中での海洋（EEZ 及び大陸棚）、沿岸域などを含めた国土全体の総合的管理

豊かで安全な生活（参考資料3）

- ・ 「豊かで安全な生活」の実現に向けて、以下のような課題が想定されるのではないか。
 - 国民生活の安全・安心・安定の確保に資する新たな視点に立った国土基盤等の整備
 - 人口減少・高齢化に対応した国土基盤の利活用として、ネットワーキングなど既存ストックの有効活用、分野横断的な用途転換、ライフサイクルコストの低減方策の推進
 - 総合的なリスク管理の推進、災害被害を軽減する自助・共助を重視した地域防災力の強化と支援、土地利用等のソフト対策の推進
 - 「二地域居住」「UJI ターン」の促進など、都市と農山漁村の交流促進、ビジター産業の育成による雇用の創造
 - 情報通信技術（IT）等の活用とコミュニティビジネス等の促進

美しく快適な環境（参考資料4）

- ・ 「美しく快適な環境」の実現に向けて、以下のような課題が想定されるのではないか。
 - 森林・農地の国民的経営（多様な主体の参画による森林・農地の管理）の推進
 - 人口減少に対応したより低投入な国土管理への移行
 - 循環型・自然共生型の国土づくりを目指した自然のバイオネットワークの形成、美しい国土の形成